allcinema

評決（1982）

THE VERDICT

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
時間 129分
初公開日 1983/03/26
公開情報 ＦＯＸ

【解説】

酒びたりの日々を送る弁護士が、ある訴訟をきっかけに再び真実と正義を問いただすようになるまでを描く法廷映画の秀作。主人公ギャルビンは新聞の死亡欄から裁判になりそうな事件を見つけては、葬儀に紛れ込んで依頼を受けようとするまでに落魄れた毎日を送っていた。そこに医療ミスで植物状態にされた患者の弁護の仕事がやってくる。始めは金になりそうと言うだけで引き受けたが、調査を進める内に再び弁護士魂に火が点り、法廷に立ち上がるギャルビンだったが……。真冬のボストンの風景と、落魄れた弁護士の描写をうまく重ね合わせて見せる前半は、悲惨な生活ぶりを見事に表わし、中盤からの証人探しで駆け回る描写や検察側との攻防戦など、「十二人の怒れる男」や「セルピコ」等、社会派サスペンスの巨匠と言われる監督の独壇場と化す。Ｓ・ランプリング演じる謎の女の出現もサスペンスに一層の深みを与え、緊迫感あふれる展開はまさに圧巻！　Ｐ・ニューマンの迫真の演技も素晴らしく、最終弁論のシーンは彼の名演の中でも屈指のひとつとなっている。なお本作はアカデミー作品、監督、脚色、主演男優（６度目の候補）、助演男優（Ｊ・メイソン）の５部門にノミネートされたが、「ガンジー」という強敵の前に無冠となっている。

【クレジット】

監督	シドニー・ルメット	Sidney Lumet	
製作	リチャード・Ｄ・ザナック	Richard D. Zanuck	
	デヴィッド・ブラウン	David Brown	
製作総指揮	バート・ハリス	Burtt Harris	
原作	バリー・リード	Barry Reed	
脚本	デヴィッド・マメット	David Mamet	
撮影	アンジェイ・バートコウィアク	Andrzej Bartkowiak	
編集	ピーター・Ｃ・フランク	Peter C. Frank	
音楽	ジョニー・マンデル	Johnny Mandel	
出演	ポール・ニューマン	Paul Newman	フランク・ギャルビン
	シャーロット・ランプリング	Charlotte Rampling	ローラ・フィッシャー
	ジェームズ・メイソン	James Mason	エド・コンキャノン
	ジャック・ウォーデン	Jack Warden	ミッキー・モリッシー
	ミロ・オーシャ	Milo O'Shea	ホイル判事
	エド・ビンズ	Ed Binns	プロフィー司教
	リンゼイ・クローズ	Lindsay Crouse	ケイトリン・コステロ
	ロクサーヌ・ハート	Roxanne Hart	サリー
	ジュリー・ボヴァッソ	Julie Bovasso	モーリン・ルーニー
	ジェームズ・ハンディ	James Handy	ディック

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ウェズリー・アディ	Wesley Addy	トゥーラー
ジョー・セネカ	Joe Seneca	トンプスン
ルイス・J・スタッドレン	Lewis J. Stadlen	グルーバー
ケント・ブロードハースト	Kent Broadhurst	ジョゼフ
コリン・スティントン	Colin Stinton	ビリー
ブルース・ウィリス	Bruce Willis	（クレジットなし）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.